

笠間の家指定管理者の候補者の選定について

指定管理者の候補者を選定いたしましたので、ご報告いたします。

1 対象施設

笠間の家

2 応募団体名（公募）

特定非営利活動法人 いばらきの魅力を伝える会

3 選定基準

- (1) 施設の運営において利用者の平等な利用が確保されるものであるか。
- (2) 施設の効用を最大限に発揮させるものであるか。
- (3) 施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか。
- (4) 施設の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであるか。
- (5) 自主事業の内容が、施設の設置目的を理解したものとなっているか。

4 指定管理者とする候補者名及び選定理由

候補者名 特定非営利活動法人 いばらきの魅力を伝える会
理事長 金澤 大介

選定理由 提案された事業計画書が施設の設置目的に合致し、事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有しており、他類似施設の管理運営の実績及び利用者の増加に向けた独自性のある事業計画を総合的に評価し選定いたしました。

5 指定期間

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

6 指定管理料（予定額）

29,000千円（5年間）

団体の概要

団体の名称	いばらきの魅力を伝える会		
法人格	特定非営利活動法人（NPO法人）		
代表者名	金澤 大介		
所在地	笠間市笠間 2372 番地 5		
設立年月日	平成 24 年 5 月 23 日		
資本金	0 円		
年間売上額	18,009,072 円		
従業員数	25 人		
支社・営業所	笠間の家、笠間市地域交流センターともべ		
業務内容	<p>特定非営利活動に係る事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政施設の指定管理、保守、運営、管理、案内 ・ 各種イベントにおいて、いばらきの特産物並びに加工品等の販売、紹介 ・ 茨城の観光、物産、スポーツすべてのいばらきの魅力発信 		
団体の特色	<p>当会は、震災をきっかけに作品破損や窯の被害にあった笠間焼復興、風評被害に苦しむ食の安全を伝えるための取組みとして、都内百貨店等で「茨城の工芸と物産展」を定期的に開催。また、茨城県広報公聴課と共に銀座を拠点に茨城県のアンテナショップの立上を企画するなど、笠間を拠点とする市民が中心になり誕生した。</p> <p>職員は、古美術商、陶芸作家、アナウンサー、飲食店経験者、映画『桜田門外ノ変』ロケセット管理責任経験者、デザイナー、学校長経験者、地域おこし協力隊経験者等の豊富な経験とスペシャリストの多いスタッフの特性を活かし、地域への貢献を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笠間のまつり実行委員会 ・ 門前通り商店街、ギャラリーロード商店会の会合 ・ 「行幸町わくわくフェスタ」実行委員会 ・ 「カサマメ☆プロジェクト」 ・ 筑波海軍航空隊記念館立ち上げ 		
管理の実績	施設名	市町村名	指定期間
	笠間の家	笠間市	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで
	笠間市地域交流センターともべ	笠間市	平成 28 年 12 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

事業計画の概要

特定非営利活動法人 いばらきの魅力を伝える会

管理運営 の方針	<p>笠間の家は、笠間の観光・芸術発信の中核となるべき魅力を持った建築物。笠間の「空間」と「時間の経過」を楽しんでいただく施設として、来訪者の満足度を高め、「芸術文化の交流推進」と「人の育成」を新たな運営方針として事業を展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸家、建築士、その他のクリエイターなど幅広い人脈の活用、交流推進 ・団体代表者が所有する里中英人氏のコレクション（遺品）の活用 ・映画製作支援の実績と人脈を生かし、ドラマ・映画の映像製作の誘致など ・ノウハウを生かし、「笠間の家」を芸術と文化のまち「笠間」の新たな観光スポットとして、映像誘致、企画展、イベントなどを行う。 			
職員体制	<p>正社員 2名 アルバイトスタッフ 1名</p>			
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地元陶芸作家展、他産地との交流展（全国陶芸作家展） ・陶芸以外のアート展、その他展示会（建築作品展、笠間映像展等） ・音楽やクラフト系ワークショップ ・芸術文化の交流推進、人材育成をテーマとした事業（トークイベントなど）【新規事業】 ・笠間焼を使用した軽食の提供【新規事業】 ・フリーペーパーの発行 など【新規事業】 			
目標指標	年度	来館者数	企画数	連携する団体数
	平成 30 年度	5,000 人	35 回	16 団体
	平成 31 年度	5,200 人	40 回	17 団体
	平成 32 年度	5,300 人	45 回	18 団体
	平成 33 年度	5,400 人	50 回	19 団体
	平成 34 年度	5,500 人	55 回	20 団体
予算計画 (H30 年度)	収入		支出	
	項目	金額(千円)	項目	金額(千円)
	指定管理料 利用料収入 その他の収入	5,800	報償費	60
		150	人件費	3,500
		1,600	需用費	1,600
			180	役務費
1,110		委託費	1,110	
100	備品購入費	100		
400	公課費	400		
600	その他経費	600		
合計	7,550	合計	7,550	